

I 第49週の発生動向 (2016/12/5~2016/12/11)

1. 警報・注意報は発令されていません。
2. インフルエンザについては、県全体の定点当たり患者報告数が1.11となりました。流行開始の目安としている1.00を上回ったことから、**流行シーズンに入ったと考えられます**。上十三保健所管内が県内で最も多く、東地方+青森市保健所、弘前保健所、五所川原保健所管内では前週より増加しています。
3. 感染性胃腸炎については、東地方+青森市保健所管内を除くすべての保健所管内で患者報告数が増加し、県全体では、第46週から**定点当たり患者報告数が前年を上回っています**。毎年冬季に最も流行しますので、今後の発生動向に十分注意が必要です。
4. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、八戸保健所管内で定点当たり患者報告数が他保健所管内より多い状態が続いています。

II 第49週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ	11	0.85	6	0.40	7	0.47	17	2.43	30	3.33	1	0.17	72	1.11	19	
小児科	RSウイルス感染症	4	0.50	3	0.33					8	1.33			15	0.36	-14	
	咽頭結膜熱			7	0.78	6	0.60	4	0.80	1	0.17			18	0.43	12	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.63	11	1.22	42	4.20			1	0.17	3	0.75	62	1.48	6	
	感染性胃腸炎	92	11.50	101	11.22	57	5.70	32	6.40	29	4.83	50	12.50	361	8.60	61	
	水痘			2	0.22	1	0.10			2	0.33			5	0.12	0	
	手足口病					2	0.20	2	0.40	5	0.83			9	0.21	-7	
	伝染性紅斑	5	0.63	1	0.11			1	0.20	3	0.50			10	0.24	2	
	突発性発しん	3	0.38	3	0.33	3	0.30			1	0.17	2	0.50	12	0.29	1	
	百日咳																-1
	ヘルパンギーナ	5	0.63			2	0.20	1	0.20	1	0.17	1	0.25	10	0.24	2	
流行性耳下腺炎	2	0.25	1	0.11					1	0.17	2	0.50	6	0.14	-7		
眼科	急性出血性結膜炎															0	
	流行性角結膜炎	9	4.50			2	1.00							11	1.00	6	
基幹	クラミジア肺炎															0	
	細菌性髄膜炎															0	
	マイコプラズマ肺炎	1	1.00			1	1.00					1	1.00	3	0.50	-3	
	無菌性髄膜炎															-1	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)											1	1.00	1	0.17	1	

■は警報、■は注意報。「空欄」:患者報告無し。

感染症の窓

感染性胃腸炎(五類定点把握疾患)第3回

感染性胃腸炎は、細菌又はウイルス(ノロウイルス、ロタウイルス等)などの微生物による感染症で、1年を通して発生しています。特にノロウイルスを原因とする場合は**冬季に流行**するとされています。

主な症状は**おう吐と下痢**で、種々の程度の脱水、全身症状など、症状には個人差があります。

2016年全国の定点当たり患者報告数は、第47週に僅かに減少しましたが、第42週以降増加傾向が続いており、第48週に再び大幅に増加しました。2016年青森県においても第42週から増加傾向で、第49週現在、**2015年より患者報告数が多い**状態で推移しています。

ノロウイルスの感染経路は、ウイルスに**汚染された食品**を原因とする場合、**患者のふん便やおう吐物からヒトの手などを介し二次感染**する場合などがあります。汚染されているおそれのある食品は**十分に加熱**することが重要です。また、**手洗い**は、手指に付着しているノロウイルスを減らす最も有効な方法です。調理を行う前、食事の前、トイレに行った後、下痢等の患者の汚物処理やオムツ交換等を行った後には必ず行いましょう。

※ 詳しくはこちらをご覧ください。[厚生労働省\(感染性胃腸炎\(特にノロウイルス\)について\)](#)



図 全国及び青森県の感染性胃腸炎定点当たり患者報告数

Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患)：東地方+青森市1人、八戸2人、むつ1人 (2016年計:278人)
- ・レジオネラ症(四類全数把握疾患)：東地方+青森市1人 (2016年計:7人)
- ・梅毒(五類全数把握疾患)：八戸1人 (2016年計:22人)

Ⅳ 病原体検出情報

病原体検出情報はありませんでした。

Ⅴ 県内インフルエンザ情報 (2016年第32週～2016年第49週)

第49週の患者報告数は72人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは71人

【A型：69人、B型：2人】でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数 (人)

週	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
東地方																		
弘前								1					1		4		3	6
八戸													9	3	7	2	8	7
五所川原		1											4	1	1	3	2	17
上十三														2	1	8	35	30
むつ	1														1	3	1	1
青森市	1	1				1											4	11
合計	2	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	14	6	14	16	53	72

A型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
東地方																		
弘前								1					1		4		3	6
八戸													9	3	7	2	8	7
五所川原		1											4	1	1	3	2	16
上十三														2	1	8	35	29
むつ	1														1	3	1	1
青森市	1	1				1											4	10
合計	2	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	14	6	14	16	53	69

B型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
東地方																		
弘前																		
八戸																		
五所川原																		
上十三																		1
むつ																		
青森市																		1
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

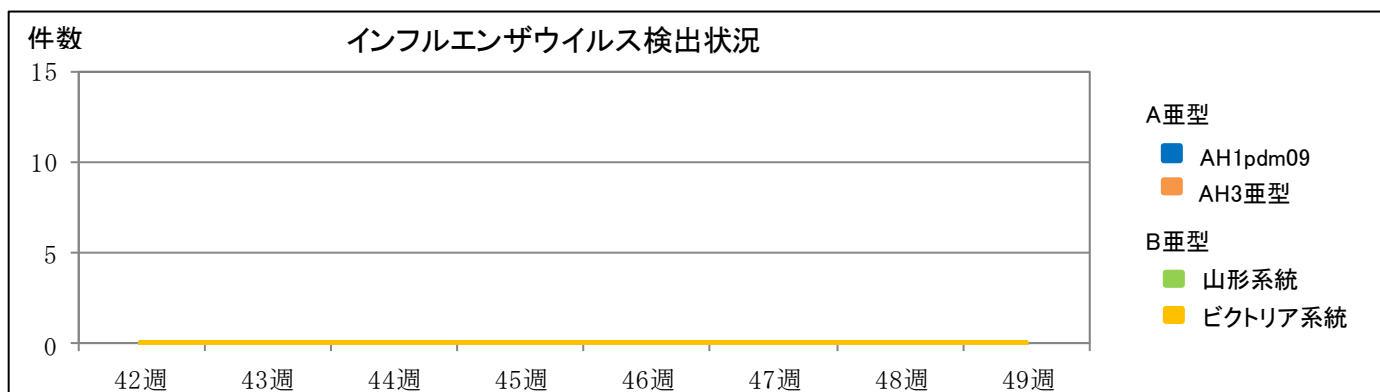
年齢区分別(人)

週	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
～5ヶ月																		
～11ヶ月																		
1歳																1		1
2歳	1												3					4
3歳													1	1			2	4
4歳													1				1	3
5歳															1			1
6歳													3			1	2	5
7歳															1		4	
8歳														1	1	1	2	
9歳															1	1	5	2
10～14歳														1	1	5	10	18
15～19歳		1													4	1	6	8
20～29歳		1											3			1	3	1
30～39歳	1							1						1	1	1	2	5
40～49歳													1	1	1	1	5	13
50～59歳															1	1	5	4
60～69歳						1							1		2	1	5	2
70～79歳																		
80歳以上													1	1		1	1	1

VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検査結果）

インフルエンザウイルス		2016年								直近5週間 合計	2016/2017 シーズン 合計
		42 週	43 週	44 週	45 週	46 週	47 週	48 週	49 週		
提出検体数（検査中）		0	0	0	0	0	0	3	1(1)	4(1)	5(1)
A亜型	AH1pdm09							0	0	0	0
	うちタミフル耐性株										
	AH3亜型							0	0	0	0
B亜型	山形系統							0	0	0	0
	ビクトリア系統							0	0	0	0
合計（検出ウイルス数）								0	0	0	0

注 2016/2017 シーズンは2016年第36週（9/5～9/11）～2017年第35週（8/26～9/3）



VII 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2016年第46週～2016年第49週） (人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
46	H28.11.14 ~ H28.11.20	腸管出血性大腸菌 感染症1人	つつが虫病1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 梅毒1人	梅毒1人 破傷風1人			
47	H28.11.21 ~ H28.11.27	クロイツフェルト・ヤ コブ病1人	劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人	つつが虫病1人			
48	H28.11.28 ~ H28.12.4		カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 侵襲性肺炎球菌感 染症1人				
49	H28.12.5 ~ H28.12.11	レジオネラ症1人		梅毒1人			

VIII 結核(二類全数把握疾患) (2016年第46週～2016年第49週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
46	H28.11.14 ~ H28.11.20		5	1	1		
47	H28.11.21 ~ H28.11.27		1				
48	H28.11.28 ~ H28.12.4		3	1		1	
49	H28.12.5 ~ H28.12.11	1		2			1

IX 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2016年第1週～第48週累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病
累積報告数	22014	9	115	3524	50	19	333	259	20	5

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎
累積報告数	7	3	12	58	1	13	346	325	271	11

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	2	5	49	8	1496	74	1037	258	1434	697

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒
累積報告数	14	160	457	1319	66	282	42	2397	284	4168

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	120	121	52	124	155	33

青森県（2016年第1週～第49週累計）

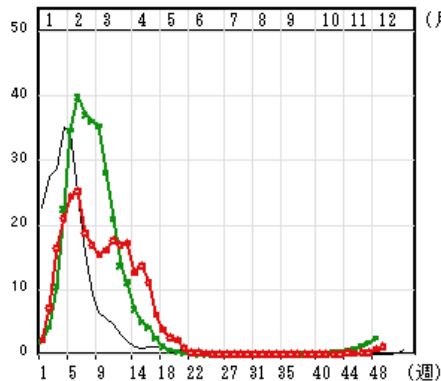
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	デング熱	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症
累積報告数	278	2	97	5	3	1	9	7	5	16

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	破傷風
累積報告数	1	4	4	3	9	3	22	2

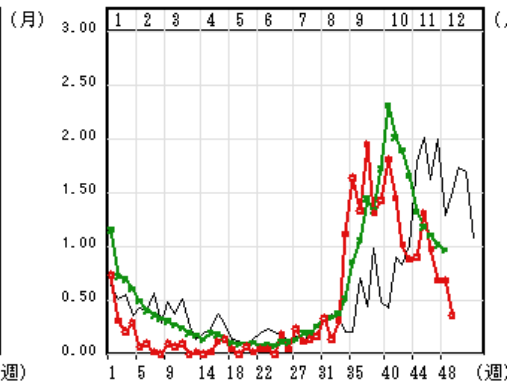
X インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移（2016年第49週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、×—×は2016年全国

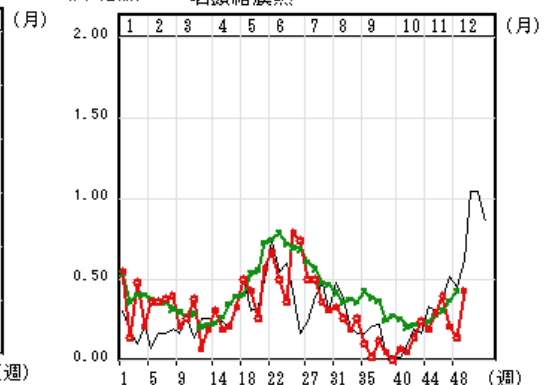
(人/定点) インフルエンザ

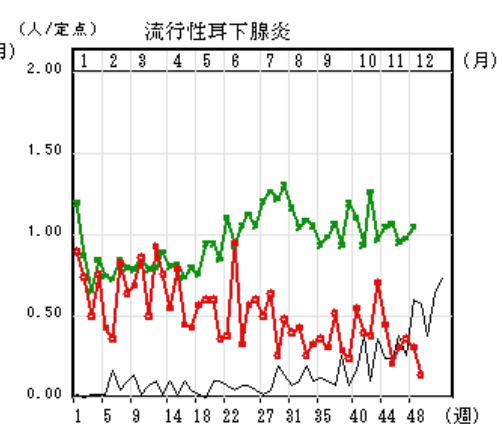
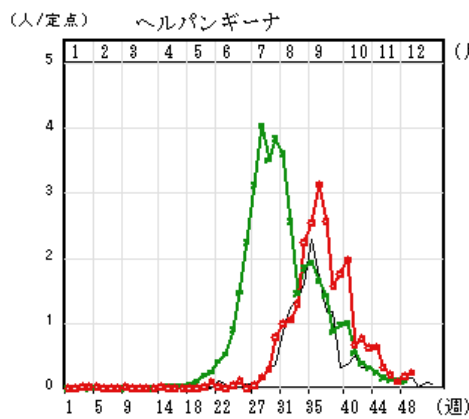
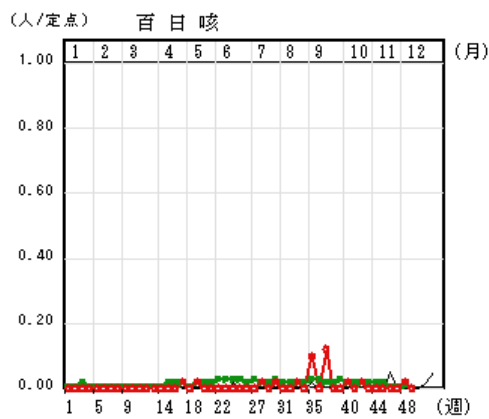
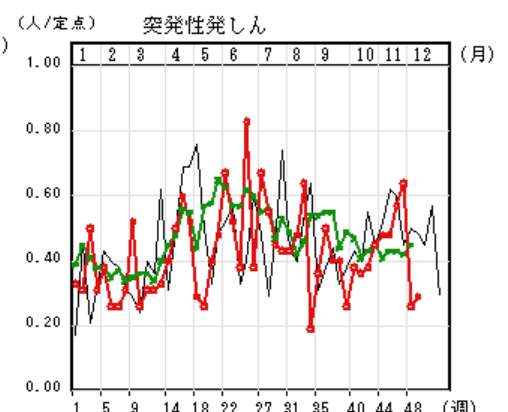
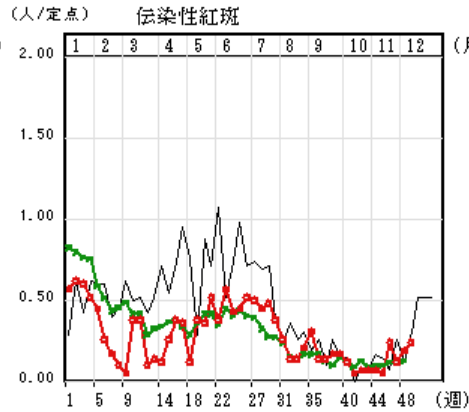
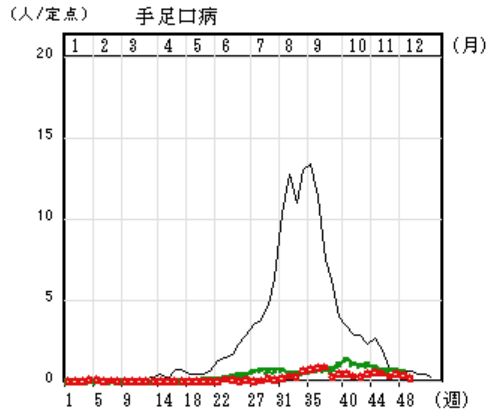
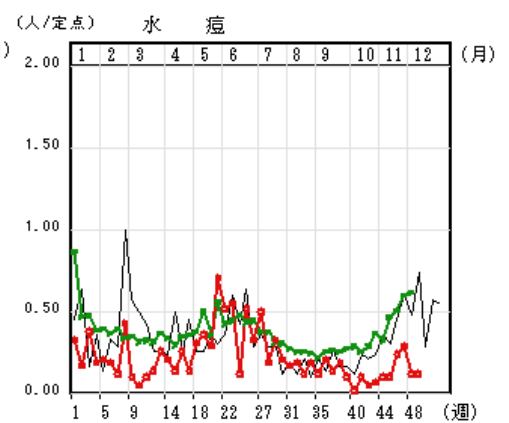
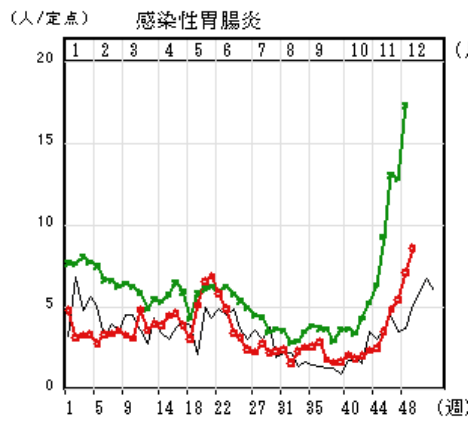
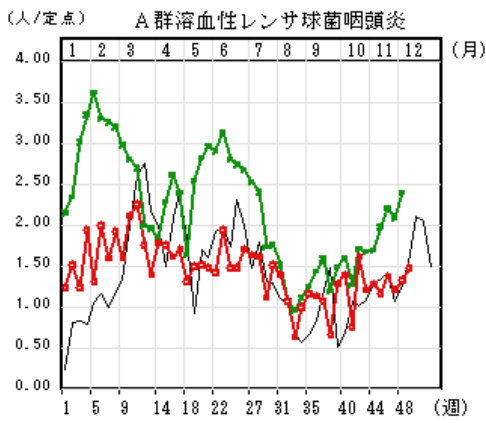


(人/定点) R Sウイルス感染症

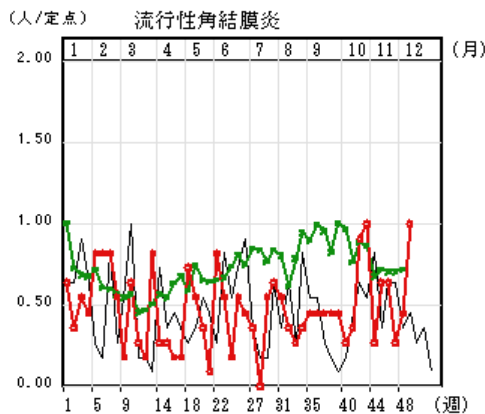
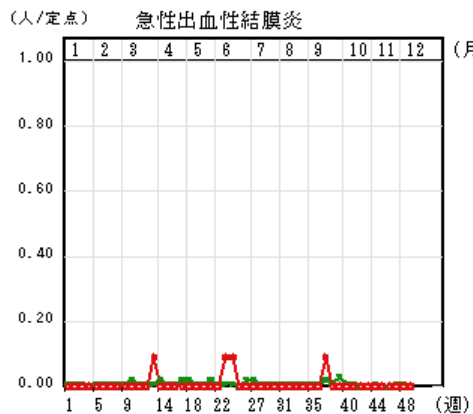


(人/定点) 咽頭結膜熱

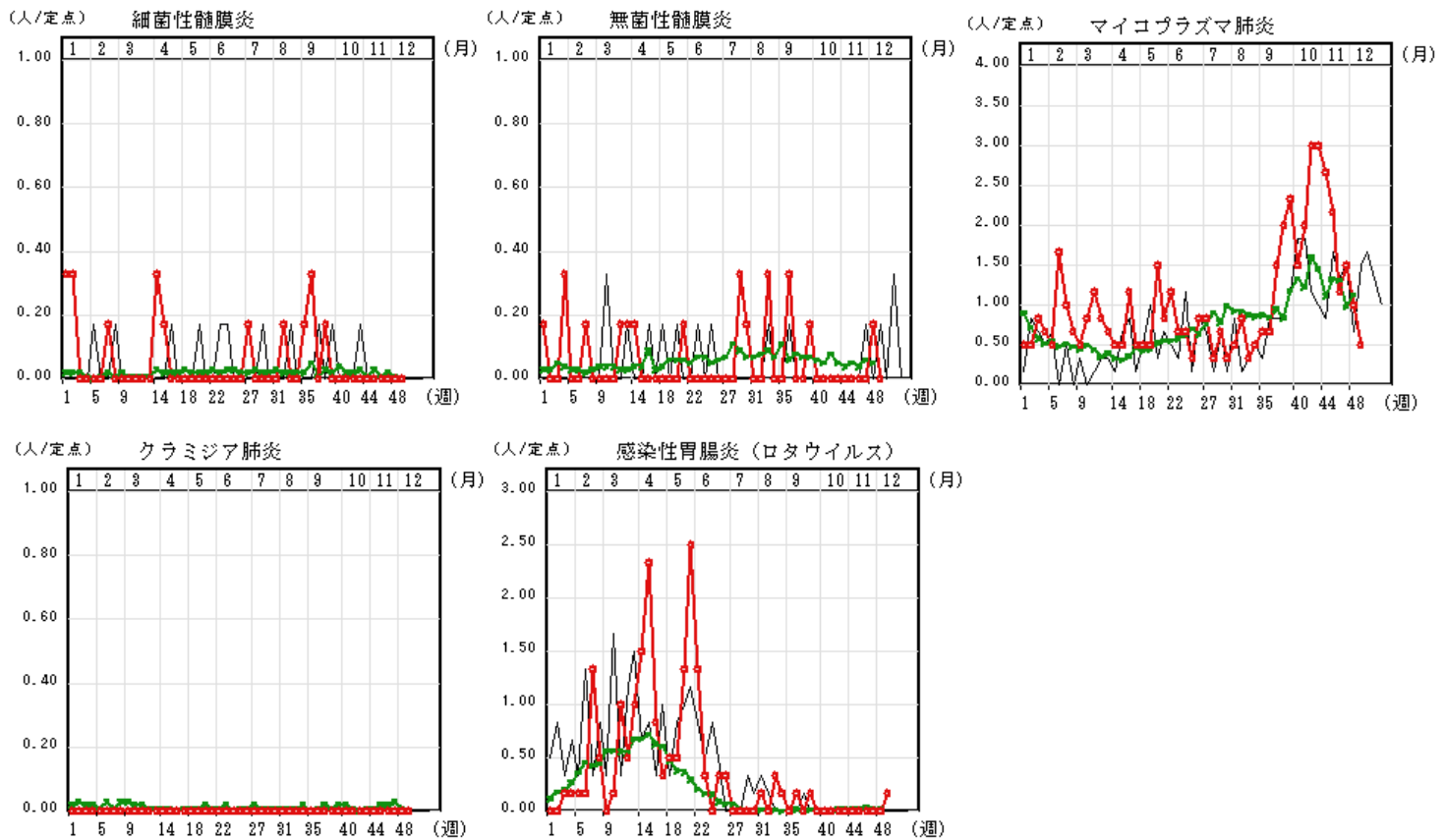




XI 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第49週、ただし全国は前週)



XII 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第49週、ただし全国は前週)



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎(疑い含む)の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」(平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知)に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎(疑いを含む)の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成28年第49週

報告週(第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第49週	児童・婦人関係施設等	13	五所川原保健所
第49週	児童・婦人関係施設等	13	上十三保健所
第49週	児童・婦人関係施設等	28	むつ保健所

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計(施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-38週	39-43週	44-47週	48週 49週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	3	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	発症者数	0	84	13	45	30	0	0	0	0	0	0	0	172
児童・婦人関係施設等	件数	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	9
	発症者数	0	26	0	0	39	26	0	0	0	0	23	0	168
障害関係施設	件数	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	発症者数	0	0	11	34	0	0	0	0	0	0	0	0	45
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	5	2	4	4	1	0	0	0	0	1	0	20
	発症者数	0	110	24	79	69	26	0	0	0	0	23	0	385